

## 2024年度 ニチキッズ雲南きすき保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月6日（月）～1月31日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月7日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子ども一人ひとりと丁寧に関わりを大切に、子どもが主体的に生活し持っている力を発揮しながらおもいっきり遊ぶことができる保育園作りを目指した。
子どもの発達援助	一人ひとりの発達について、職員間で十分に共有し子どもの心身の発達支援となる関わりを行った。また、成長に合った保育環境の整え安心安全に過ごす為に見直しを図っていく事が課題である。
保護者に対する支援	日々の送迎時等には保育者と積極的にコミュニケーションを図った。そして、一人ひとりの子どもの姿や成長を伝えながら相談対応や面談を通して、保護者に寄り添い安心して子育てが出来るよう支援を行った。その他に、子育て広場として地域の子育て世代にも幅広く情報提供を行い、地域全体の子育て支援の役割を果たした。
保育を支える組織的基盤	定期的にミーティングを実施し、業務の進捗情報の共有を行い、全職員でコミュニケーションを図り専門性を高める保育運営に努めた。また、保育実践としてリズム遊び等のそれぞれの職員の強みを活かした園内研修でスタッフ全体のスキルアップを図った。

総評
園の保育理念や保育方針を理解し、子どもたちの姿を把握した保育計画と取組みを行うことができた。ミーティング実施により、意見を出しやすい雰囲気のもと行事等新たな取組みや業務課題改善を行った。今後、子ども達が楽しいと感じられる描画活動や手遊び等の研修を計画、日々の保育の質向上と研修での学びを活かす仕組み作りを構築、園全体と個別の着実なスキルアップを図るために全職員が協力し質の高い保育を行う体制を目指すことが課題である。